

ミミズバイ

か めい
科名 ハイノキ

べつ めい
別名

がく めい
学名 Symplocos neriifolia Siebold et Zucc.



く ぶん
区分 木本類

ぶん ぶん
分布 本州、四国、九州、琉球、中国、
インドネシア

は かたち
葉の形 狭長楕円形

は ぶち
葉の縁 全縁

は さき
葉の先 鋭形

は しゅるい たんよう
葉の種類 単葉

は つきかた ごせい
葉の付方 互生

は き ぶ くさびがた
葉の基部 くさび形

み しゅるい かくか
実の種類 核果

は な がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

しょうようじゅりん は じょうりよく しょうこうぼく こえだ ぶと りよう わか かっしょく け
照葉樹林に生える常緑の小高木、小枝は太くて稜がなく若いときだけ褐色の毛があ
り、のちに無毛となつて赤褐色をおびます。葉は革質で無毛、表面に光沢があり裏面は多少
粉白色をおびます。花は白色、果実は卵状長楕円形で翌年の秋に黒紫色に熟します。
なまえ ゆらい かじつ あたま に せつ
名前の由来には果実がミミズの頭に似ているからつけられたという説があります。

せつ
説
めい
明